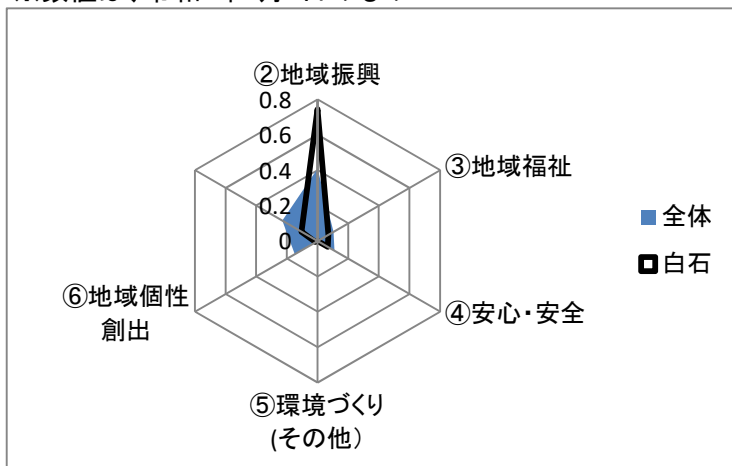


白石地区地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(令和4年度)

■地域の情報

地域人口	10,426人	自治会数	40
世帯数	4,808世帯	自治会加入率	83.5%

※数値は、令和5年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	8,713,000 円
交付金決算額	8,287,710 円
その他収入	66,033 円
交付金決算額/配分額	95.1%

各分野の決算

①協議会運営	5,353,025 円
②地域振興	2,232,841 円
③地域福祉	214,264 円
④安心・安全	197,495 円
⑤環境づくり(土木工事)	0 円
⑤環境づくり(その他)	40,095 円
⑥地域個性創出	316,023 円
決算総額	8,353,743 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

みんなで作る住みよいまち・白石

■総括

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から止む無く、地域課題解決の手段としての事業を中止または縮小せざるを得なかった。
 今後については第3次地域づくり計画に基づいて、地域課題を解決するための手段としての事業を企画し(P)、地域住民が主体となって遂行し(D)、事業結果(効果)を検証し(C)、改善する(A)ために、地区住民同士が自由に話し合える場づくりに重点的に取り組む。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局長及び事務員人件費、事務費
② 地域振興	地域づくり活動参加促進、広報事業、「やまぐちえき」応援イベント、白石フェスティバル開催支援、町内親睦大運動会開催支援、町内会親睦活動支援、ふるさとまつり参加促進
③ 地域福祉	チャレンジ健康づくり、健康食のおススメ、グラウンド・ゴルフ参加促進、むかし遊び
④ 安心・安全	危険防止看板設置、反射鏡設置、自主防災活動参加促進、夏休み防災訓練キャンプ、安全パトロール事業
⑤ 環境づくり	環境美化・保全活動推進
⑥ 地域個性創出	白石歴史探訪の会

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	地域づくり活動参加促進	決算額	285,920円
	目的	地域課題の解決		
	実施内容	地域課題解決のための方向性を会員団体が共有する環境づくりと地域づくり活動に参加する地縁者の参加促進を図る。		
	実施時期	通年		
	参加人数	111人		
	成果	各専門部会等の運営に関わる人たちの参加意識の向上が図れた。		
	評価	参加人数が111名(昨年比△6名)と微減となったもののコロナ禍においても大幅に減少することなく参加者数を維持することができており、来年度以降の参加者の増加が期待できる。		
今後に向けて	地域の将来像や地域課題解決のために実施する事業の情報を地域住民同士が共有し、地域活動が積極的に展開されるよう、地域づくり活動に参加する地域住民、とりわけ地縁者の増加促進を図る。また、地域づくりに関わる啓発研修会や自由な意見交換会等を開催するなど啓発活動に取り組む。			
②	事業名	「やまぐちえき」応援イベント	決算額	298,254円
	目的	地区住民同士やSL乗客等他地区住民との交流促進を図る。		
	実施内容	JR山口駅的环境美化活動、市内観光ウォーキング、JR山口駅構内待合室において写真展、SLクリスマス号のおもてなしやJR山口駅前ロータリーにイルミネーションの飾り付けをした。		
	実施時期	令和4年5月、6月、8月、10月、11月、12月、令和5年3月		
	参加人数	16人		
	成果	JR山口駅構内待合室で写真展を開催、「クリスマスは山口から」をテーマに駅ロータリーにイルミネーションを飾り付け、利用者や近隣住民の皆さんへ白石地域の魅力を発信した。実行委員や参加者が増加し、本事業は拡大している。		
	評価	山口駅構内待合室における「白石ご当地自慢写真展」では主に山口駅利用者等他地区住民の皆さんへ「ちょうちん祭り」、「山口祇園祭」等伝統文化や明治維新に関わる名所旧所など白石地区および近隣地域の魅力を発信することができた。観光ボランティア「てくてくウォーキング」では白石歴史探訪の会とコラボ開催し、参加者と交流を深めることができた。		
今後に向けて	今後も継続して、おもてなしイベントの実施や「白石ご当地自慢写真展」の開催、駅カフェの開設、JR山口駅前ロータリーにおいてクリスマスイルミネーションの飾り付けを実施する。また、6・10月の観光ボランティアについては、来年度も白石歴史探訪の会とコラボして実施したい。 白石地区および近隣地域の魅力を発信する本事業を深化させ、地域内はもとより他地域交流の礎としたい。			
③	事業名	ふるさとまつり参加促進事業	決算額	344,017円
	目的	子どもからお年寄りまで家族ぐるみで参加していただき、地域住民同士の繋がりを深める。		
	実施内容	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、【祇園祭】は中止となった。 【ほたるまつり】は無料休憩所の設置・間隔・コロナ対策をしながら実施した。 【ちょうちんまつり】はステージは設置せずに、広場では白石カフェのみを行った。 8月6日に子ども会育成会を中心に、ミニちょうちんツリー点灯・願い事短冊の飾り付けを実施した。		
	実施時期	令和4年5月28日・令和4年8月6日・7日		
	参加人数	452人		

成果	<p>両祭とも白石小学校・白石中学校のPTA関係者の多くの協力を得た。またコロナ対策のため参加者・スタッフ全員が検温・消毒をするなど、感染防止を徹底したところから、新規感染者の発生もなく、無事に終了した。</p>
評価	<p>事前に会議を行い、最終確認をしたことから、事前準備、お祭り、片付けまで円滑に実施できた。</p>
今後に向けて	<p>伝統文化活動を通じて、子どもからお年寄りまでの三世代間の交流を促進する。とりわけ、自治会連合会を通じて、各単位自治会から最低1名程度の参加を実現したい。</p>